

加盟各社の業績不透明さを反映し、健保組合も大幅な財政悪化見込み。

第181回ダイハツ系連合健康保険組合会【2月22日(木)開催】
において令和6年度予算が承認されました。

加盟事業所各社の業績不透明さを反映した結果、保険料収入の大幅な減少が見込まれます。

また、国が決定した、医療費単価の値上げにより医療費支出も増える見込みです。

近年に無い急激な財政悪化が予測されます。

加入者の皆さまの医療費節減への取り組みを是非お願いいたします。

事業主の皆さま、組合員の皆さまの引き続きのご理解、ご協力
よろしく申し上げます。



(現地への出席とWEB会議をあわせて開催)

健康保険予算

収入予算額 76億3,039万8千円

収入



支出予算額 76億3,039万8千円

支出



保険料と組合独自の収入を超える支出超過分を組合財産7億943万円や国や上部団体(健保連)からの補助金1億746万円でカバー

経常収支差引額 ▲7億6,852万4千円

医療費と拠出金で保険料収入を5億7,152万9千円超過

令和6年度健康保険料率

健康保険料率=10% (前年同率)	
事業主=5.39%	被保険者=4.61%

介護保険予算

皆さんから納付いただいた介護保険料で、国に指定された負担額を納めています。

介護保険予算総額		7億5,094万3千円	
収入		支出	
介護保険料収入	7億5,094万円	介護保険納付額	7億95万5千円
その他収入	3千円	その他支出	4,998万8千円

令和6年度介護保険料率

介護保険料率=1.82%	
事業主=0.91%	被保険者=0.91%

介護保険料率は、1.82%となりました。
(前年同率)